

YELL 先輩からのメッセージ

～令和3年度（2021年度）初任者研修・新規採用者研修を受講される皆さんへ～

昨年度、初任者研修・新規採用者研修を受講した先輩からのメッセージです。一年間、子どもと向き合い、自分と向き合ってきたからこそその熱い想いが込められたエールです。

小学校

教員採用試験合格おめでとうございます。きっと想像しているよりも毎日忙しくて目が回るような毎日だと思います。でも大丈夫です。初めて担任で持つ子どもたちは本当にかわいくて、たくさん元気をくれます。確かに子どもと関わる中で悩むことや辛いこともあると思いますが、子どもが目標に向けて頑張る姿に感動したり、休み時間に子どもたちが話してくれることで笑顔にしてもらったり、明るい気持ちにしてくれて、マイナスな気持ちを吹き飛ばしてくれます。また、一緒に働いている先生方を頼らせてもらうことも大切だと思います。やはり経験が少ない私たちは自分の力だけでできることは限られていると思います。職員室にいらっしゃる先生方は、私たちよりたくさんのアイデアを持っているし、経験も豊富なので、たくさん聞いて学ばせてもらうことが大切だなと一年間を通じて感じました。自分一人で頑張ろうとするのではなく、子どもたちと、一緒に働く先生方と共に頑張りたいと思います。

小学校

合格おめでとうございます。私はちょうど一年前のこの時期は、「どこの学校になるかな？」「何年生の担任になるかな？」とドキドキしていました。

4月に配属され、学校の様子や周りの先生方のことも、また、どのような行事があるのかもわからず、不安でいっぱいでした。しかし、周りにはたくさんの優しい先輩方がいました。先輩方と話していくうちに、学校のことを少しずつ知ることができて慣れてきました。そして、先輩も「そうやって色々聞くと、私も勉強になる」と言ってくださいました。

私は、この一年間、授業のことや子どものこと、保護者のこと、全てにおいて、分からないことがあれば、先輩に相談していました。みなさん、優しく教えてください。困ったことや不安なことがあったら、どんどん相談してみてください。成長できるととても素敵な一年になると思います。

小学校

教員採用試験合格おめでとうございます。

昨年度は異例のスタートだったため、早く子どもに会いたいというワクワクする気持ちと、教員としてやっていけるだろうかという不安の気持ちが入り混じりながら最初の数か月を過ごしていました。通常の登校が始まると、普段の授業準備に加え、校務分掌の仕事、事務作業、会議などがあり、さらにその内容が全然分からないことへの戸惑いがありましたが、それ以上に毎日子どもたちと過ごす日々がとても楽しく、やりがいを感じられるようになりました。もちろんしんどいと感じる時もあります。そんな時には遠慮せず先輩の先生方に相談してください。きっと親身になって話を聞いてくれると思います。私自身もたくさんの先生方に支えられ頑張ることができました。

教員としてまだまだ未熟な私ですが、子どもたちが成長していく姿を間近でみるのできる教員という仕事に誇りを持ち、私も子どもたちと一緒に教員として成長していきたいと思っています。

小学校

初任者の皆さん、おめでとうございます。ようこそ、豊能地区へ。

さて、きっと今の皆さんの胸の中は期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。期待の方が大きいですか。不安の方が大きいですか。一年前の私はこれからどんなことが始まるのか分からず、不安の方が大きかったような気がします。でも、学年の先生方を中心に、様々な先生からサポートしていただき、一年目を無事にやり遂げることができました。

きっと皆さんの周りにも同じように助けてくださる先生方がいます。聞いたこと以上のことまで熱心に教えてくださったり、困っているときは笑顔で助けてくださったり、時には厳しく指導して下さったり…一年目ほど教えていただけの年はないともいいます。先輩の先生方のよい所を一つでも多く吸収して、自分の成長の糧にしてください。

そんな皆さんの力に少しでもなれるように、私たちもこの春からまた心新たに頑張ろうと思っています。これから皆さんの素晴らしい教員生活の始まりと、充実を心から願っています。

小学校

私は先生になるまでとても時間がかかりました。だから、今、当たり前のように子どもたちと過ごす日々がとても幸せで充実しています。本当に豊能地区に採用していただき良かったと感じています。感謝しかありません。

当然ですが、これから一年間たくさんの苦勞があります。毎日があっという間に過ぎていきます。しかし、それを乗り越え、日々、子ども達と一緒に成長できることは本当に幸せです。

今日から皆さんも先生です。笑顔と自信とプライドを持って一緒に頑張りましょう！

豊能地区の教育を盛り上げましょう！

小学校

最初は何もかもが分からず、何が分かっていないかも分からない一学期でした。学年の先生にいろいろなことを聞き、最初はマネをすることを目標にしていました。二学期になり職場に慣れ、いろいろな先生のアドバイスをいただきながら自分色に染めるようにしていきました。

大切なことは二つあります。一つ目は先輩・同期を頼ることです。本当に分からないことだらけなので、いろいろな先生からアドバイス・助言をもらい、実践してみることが大切だと思います。

二つ目は児童からすれば初任者も当然、先生だということです。1年目の教員も10年目の教員も同じ先生です。児童の前では自信をもって授業をし、演じることも必要であると感じることができました。分からないことばかりだと思いますが、いろんな人に頼り、自分のしたいことをしていけばいいと思います。

小学校

私は一年間、豊能地区で講師をしました。講師としての一年間は、うまくいかないことの方が多くて、放課後に何度も泣いて、「本当に教師という職業が自分に向いているのかな？」と悩みました。しかし、先輩の先生たちの「いろんな先生がいるからいいんだよ。大変だと思ったらどんなことも大変。子どもたちの成長を願う気持ちがあれば大丈夫だよ。」という言葉でなんとか頑張ることができました。教員採用試験に合格し、新しい学校で、初任者として一年間、新たな気持ちで研修を受け、子どもたちと関わってきました。反省ばかりの毎日ですが、少しずつ「できた！！」が増える子どもたちと過ごす毎日は、本当に楽しいです。教師になってよかったと心の底から思えるようになりました。初めてのことはばかりで、分からないことが当たり前です。先生たちは、聞けば何でも教えてくれます。

また、子どもたちの前では、「笑顔でいること」が大切だと言われたことがあります。無理をせずに、おいしいものを食べて、好きなこともして、ゆっくり休んで、毎日笑顔で過ごしてください。先生が笑顔だと子どもたちも笑顔になります。教師という職業は魅力がいっぱいです。これから一緒に頑張っていきましょう。合格、おめでとうございます。

小学校

初任者の強みの一つに、「いろんな先生方に頼ることができる」ということがあると思います。まずは自身でやってみるということも大切だと思いますが、分からないことが分からない、ということもあると思います。そういう時は、いろんな先生方に頼ることも必要だと思いますし、経験を重ねると聞くことが難しくなってくると思います。私自身も、教材研究や日々の業務で悩んだ時には、いろんな先生方に相談にのってもらうことで、早く解決し、学びにもつながるという経験がたくさんありました。また、いろいろな先生方の授業を見せていただいたり、助言をいただいたりできるのも、初任者の強みだと思います。分からないことがたくさん出てくると思いますが、先輩の先生方に積極的に話を聞いて、学びの多い一年間にしてください。

小学校

私はこの一年間、目の前のことをこなしていくことに精一杯で、そんなときに思うことは「自分は本当に成長できているのだろうか」ということでした。しかし、どんなに不器用・不格好でも、目の前のことに一生懸命取り組むことは必ず自分の成長になっています。実際、今こうして自分自身のことを振り返って、年度初めの自分とは大きく違うことを実感しています。何事にも一生懸命に取り組んでいれば、必ず最後には笑って終わられるはずです。

そして、一生懸命に取り組む過程には、必ず支えてくださる先輩方もいます。特に私は学年の先生、初任者指導の先生、管理職の先生にはたくさんの話を聞いていただき、共感してもらったり、アドバイスをいただいたりしていました。だから、不安に思うことがあっても一人で抱え込むことは一度もありませんでした。

この一年間、たくさんの壁にぶつかり、「もう乗り越えられない」と思うこともあるかもしれませんが、どうか最後まであきらめず、たくさんの先生に相談しながら取り組んでみてください。必ず乗り越えられるはずです。一緒に頑張りましょう！

小学校

今年はコロナウイルスの影響で、行事ができるのかギリギリまで分からず、会議で毎日の変更を確認することが多い一年でした。その中で、職員室はどうにか子どもの笑顔を守れるようにアイデアを出し合う姿がとても心に残っています。どんな時でも、どんな状況でも、子どものことを考えられる教員でありたいと感じました。

そして何より、子どもたちのつながりをつくるためには、教員同士のつながりを大切にしていけることが働く環境や子どもの学びにおいて必要なことだと感じます。

全てが今までと違う初任者としての日々でしたが、変わりゆく予定や、見通しの立たない毎日に不安に思うこともありました。しかし、毎日子どもたちは来ます。そして、笑顔にしてくれます。自分の体調や心も大切にしながら、教員としての生活を送ることができるよう、心がけていくことが大切だと思います。

小学校

初任者のみなさん、一年目がついに始まりましたね。不安や悩み事はあると思います。むしろ、それらが無い人などいないと思います。昨今の新型感染症流行で、私たちも大変な一年を過ごしてきました。しかし、今こうして二年目を迎えられるのも、周りの人たちの助けがあったからこそです。もしかしたら、「周りに迷惑をかけたら申し訳ない」と思い、「自分でなんとかしよう」と思っている人もいるかもしれませんが、それは仕方ないことです。もちろん、自分の考えなしに聞いてばかりでは、自分自身が成長しません。分からないことは分からないと聞き、自分ができることを考え、行動することを心がけていれば、大丈夫です。

そして、何か壁にぶつかったら自分一人で抱え込まずに相談することです。そういう意味で、初任者同士のつながりは大切だと感じます。昨年度は新型感染症の影響で、同期で集まる研修が少なくなってし

まいりましたが、つながりを大切にしてみみんなで頑張っしてほしいなと思います。

最後になりましたが、これから一緒に頑張っていきましょう。

小学校

毎日、授業にトラブル対応、学校に来られない子との関わり、保護者対応等、私なりに忙しく過ごしているとは思いますが。帰りも遅い方で、職員室で残って仕事をしていると、たまに先輩に、「この仕事、どう？」と聞かれます。でも私はいつも、「楽しいです！」と答えてしまいます。なぜなのか？と考えてみました。その理由について少しだけお話させてください。

一つ目は、「発見」があるからだと思いました。子どもたち一人ひとりには、良いところ、課題にするところがあって、みんな違います。毎日一緒に過ごす中で、ふとした瞬間に、「成長したなあ！」「こんな一面もあるんだ！」「こんな考えができるんだ！」と、子どもの数だけ発見があること、またやり取りの中でそれを直に感じられる瞬間が、楽しくて仕方ないのです。

二つ目は、自分に対する「成長」が感じられるからだと思いました。何も分からずスタートした一年目だったけれど、自分なりに考え、周りの先生方に助けていただきながら、いろいろな失敗や挑戦を通して、一年前の自分と比べると、ほんのちょっとは成長したなあ…と思うことができました。「成長した」と感じられることも、私にとって楽しいことの一つなのです。

まだまだ言い切れないことばかりです。でもそれは、皆さんがこれから実際に感じられていくことでしょう。採用おめでとうございます！皆さんにとって、楽しい日々が待っていますように。

小学校

私が初めてクラスの子どもたちに会えたのは、先生としての生活が始まって一か月半後の5月の半ばのことでした。準備をする中で「どんな子だろう、早く会いたいな」という思いがいっぱいの一か月半で、分散登校を経て全員がそろった時の感動と、これから頑張らなければという責任感は今でも鮮明に覚えています。日々の授業、給食やそうじ、友だち関係のトラブル、放課後の会議…。毎日あっという間に過ぎていきます。他のクラスの先生方のようにはうまくいかず、自分の無力さを感じることも多く、子どもの前で涙を流すことや、体調を崩してしまっって休まざるを得ないこともありました。その度に「私は先生に向いていないのかもしれない」と思いました。

でも、そんなときに励ましてくれるのが、目の前の子どもたちでした。「先生いつもありがとう！」「にこにこ笑顔の先生が大好きだよ」「毎日学校が楽しいよ！」中でも一番印象的だったのが、国語の詩の学習の際、「ぼくたちは人間の若葉だけど、先生は先生の若葉だね！一緒だね！」と言われました。まさにその通りだと思います。先生も子どもと一緒に成長していきます。初めは分からないことばかりで、そもそも何が分からないのかも分かりません。誰に頼ればいいのかも分かりません。でも、目の前の子どもたちや周りの先生方は本当にいつも頼りになります。

一緒に一歩ずつ頑張っていきましょう。これを読んでいるあなたと一緒に働ける日を楽しみにしています！

小学校

今年はコロナ禍ということもあり、毎年当たり前のようにあった行事や活動が制限、縮小された年でした。その中で何ができるのかを毎日考え、とても悩んでいた時に、同僚の先生が「子どもたちにとって、成長する時や一生の思い出に残るものは特別な行事や遠足などではなく、何気ない毎日の中で笑ったり泣いたり、一緒に悩んだり楽しんだりする仲間がいることなんだよ。」と言ってくれ、それまで私のもっていた価値観が大きく変わりました。それからは、コロナ禍であっても、一日の中で、ドキドキしたりワクワクしたり考えたりする時間を作ろうと意識しました。そして、私のクラスの子どもたちは、お互いのことを大事にし、誰かが泣いた時、辛い時には「大丈夫?」「次、頑張ろう」「気にしなくていいよ」と誰かが必ず声をかけ、相手のことを思いやれる集団となりました。毎日誰かから「四年生が終わるまであと〇日!」「さみしいなあ」など子どもたちのクラスへの思いがこもった声が聞こえてきました。

そんな子どもたちが私は大好きです。初任者としてワクワクする気持ちだけでなく、不安なこともたくさんあると思います。でも、毎日子どもたちのことを考え、必死にやれば、その結果は何かしら子どもたちから返ってきます。苦しいこと、悩むことももちろんあるとは思いますが、子どもたちと一緒に楽しみながら一日一日を大切に過ごしてほしいなと思います。頑張ってください。

小学校

昨年度はコロナ禍でのスタートとなりました。私には一年の講師経験があるとは言え、「例年通り」が充分に理解できないまま一年間が過ぎていったように思います。でも、誰もが初めて経験することに戸惑っているように見えました。

そんな時だからこそ、同僚の先生方とのコミュニケーションは大事だったのではないのでしょうか。特に同じ学年の先生方とは、普段から様々な情報を共有したり、他愛のない話をしたりすることで、自然と信頼関係を育んできました。初めてのことに知恵を出し合い協力し合って、乗り越えてこられたのも、きっと普段からの関係性があったからだと振り返ります。

先生同士のやり取りは、おそらく子どもたちも何気なく見ています。先生が笑顔でないと、なかなか子どもたちも笑顔にならないものです。

しかし、そう言う私も、未だに心の余裕がなくなってしまい、教室の中で怖い顔をしているなど自覚する時があります。正直、仕事に追われることも、反省することも本当に多いです。でも、せっかく自分がやりたいと志し、できている仕事だから、少しでも楽しみを感じながら毎日を過ごせたらいいなと、今改めて思っています。

新任の先生方が来られることで、私たちも初心に返ることができます。お互いその気持ちを大切に、共に切磋琢磨できれば嬉しいです。

小学校

どんな子どもたちなのか、どんな授業をしたらいいのか、何から始めたらいいのか…と初めは不安がたくさんあると思います。しかし、周りにはサポートしてくださる先輩教員、毎日ちょっとした話で笑わせてくる子どもたち、成長した姿で喜びをくれる子どもたちがいます。

初めの頃は悩んだり困ったりすることがあると思いますが、周りの方々に支えられて一年があっという間に終わってしまいます。そんな一年を振り返ってみると運動会が印象に残っています。先輩教員と

一緒に曲を選び、そして0からダンスの振り付けを考えるとところから始まります。練習ではうまくいかず、訂正を繰り返し、子どもたちが混乱した場面もありました。しかし、私たち教員が全力で取り組んでいると、子どもたちも一生懸命取り組みます。コロナの影響で保護者の方に子どもたちの頑張っている姿を発表することはできませんでした。学年の子どもたちと一生懸命に取り組んだダンスは私たち教員と子どもたちの大切な思い出の一つです。

きっと皆さんも一年後に振り返ってみると初めの頃の不安以上に魅力ある職業だと感じると思います。

小学校

何もかも分からないところからのスタートで、不安な毎日を過ごしていました。自分自身が、何に困っているのか、何が分かっていないのかも不明だった時期もありました。しかし、いろいろな先生方のサポートのおかげで、少しずつ見えなかったものが見えるようにもなりました。

ある先生から「教員経験の豊富な先生には授業力では勝つことは難しいが、初任者の強みは若さである。」という言葉をもたらしてからは、この言葉を大切にしています。たしかに、子どもとの距離や親しみやすさは、初任でも大きな強みにできるはずで。

特に一年目は、失敗や悔しい思いもたくさん経験すると思いますが、そんな経験を積みながら、いろいろな先生からいろいろなことを吸収してみてください。一つ一つのアドバイスが宝物になると思います。今は私も大きく自分の成長を実感することは難しいですが、いつかきっと、自分自身が「成長したなあ〜」と実感できる日が来るはずだと信じています。

小学校

右も左もわからないまま物事が進み、会議や学級開き…と焦りばかりが積みあがっていくと思いますが、初めはみんな同じ思いをして日々成長していくものだと今となっては分かります。分からないことを隠さず「教えてください」と言えるのは初任者なら当たり前なのです。先輩・保護者の方々に教えてもらいながら一歩ずつ進んでいってください。そして、何より子どもたちからたくさんのお話を学んでください。一緒に泣いて笑って成長していけるのは教師の特権だと思うからです。

たくさんのお話や後悔もありますが必ず自分の糧になります。指導して下さる方の存在に感謝をして、どんな言葉もまっすぐに受け止めていってください。社会人として真摯さと謙虚さをもって常にチャレンジを続けていってほしいと思います。心から応援しています。

小学校

勉強が分からず困っていた子どもたちが「分かった!」という顔をした時、「学校楽しい!」と笑顔で言ってくれた時に、「この仕事をしていて本当によかった」と心から思います。

一年たった今でもうまくいかないことや、分からないことがたくさんあります。しかし、うまくいかないこと、分からないことをそのままにしておくのではなく、その日の課題は何か考え、同じことを繰り返さないようにし、積極的に先生方に聞くことを大切にしています。当たり前のことかもしれませんが、私

はこれが一番大切だと思います。また、失敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジすることも心がけています。

初めは、何をすればいいのか分からず、困ることもあると思いますが、その分やりがいや充実感であふれている職業です。一緒に頑張りましょう。

小学校

学校行事や日々の授業、児童との関わり方、思うように楽しむことや進めることができないことがたくさんありました。初めの頃は周囲の先生方に相談できず、一人で悩みを抱えることも多かったです。しかし、先生方に悩みを打ち明けることや、たくさん質問することで自分の学びになるだけでなく、先生方とのより良い人間関係をつくることで、目の前の子どもたちにとってもより良い関わりや指導の方法につながるということを強く実感しました。

たくさんの失敗や悔しい思いを経験することは、時には想像以上に苦しく感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、その思いを感じるができなければ、さらに成長したい、もっと努力しよう、次にする時にはこの経験を活かそうと強い思いをもって、励む力は生み出されないと思っています。初任者は自分一人だけでなく、仲間がたくさんいます。そして周囲の先生方もかつては初任者の立場も経験しています。どんな小さな悩みも、相談するか迷うことがあったとしても、必ずすぐに周囲の先生方を頼ってください。同じ立場を経験した味方として寄り添って話を聴いてくださり、的確なアドバイスをしていただけます。まずは自分らしく、楽しみながら様々なことに挑戦してみましょう。

小学校

子どもたちにも保護者の方にも、名前も顔も知られていない状態でのスタートにとっても不安を感じていました。この一年間で学級の気になる児童の対応や保護者対応がうまくいかなかったことなど、落ち込むこともたくさんありました。慣れないことへの不安や授業の準備など、多忙で自分と向き合えず、自分や周りを責めたり逃げたくなったりすることもあると思います。しかし、目の前にいるクラスの子どもたちに「先生」と呼ばれると、この子たちの担任は私だけなのだとかと教員としての自覚が出てきます。緊張や落ち込んでいる日でも、子どもたちと話をしていると私の方が安心していたり、子どもたちと一緒に外遊びを全力で楽しんだり、学級の子どもたちから毎日たくさんのパワーをもらって乗り越えることができました。トラブルも嬉しいことも子どもたちと向き合い、一緒に経験することで得られるものがたくさんあると思います。

担任として学級を任せてもらえていること、学級の子どもたちにとってたった一人の先生であることに喜びを感じ、感謝しながら日々頑張ってください。

小学校

私はこの一年、たくさんの子どもたち、先生方に会い、多くの経験をしました。多種多様な子どもたちと会い、子どもたちの可能性や成長を感じることができ、毎日いろいろな刺激をもらいました。その

中でたくさんの困難にも遭いました。ことあるごとにどのように対応すればいいのか、どのように指導すべきなのか子ども一人ひとりの実態に沿って柔軟に対応するのがとても難しかったです。放課後、教室に残って遊んでいた子どもたちが私にいろいろな話をしてくれました。その時に一人の子が「先生に話を聞いてもらえると安心する」と言い、その言葉に周りの児童も共感していたのが今でも心に残っています。忙しい中でも子どもとしっかりと向き合う時間を大切に過ごしてください。

最後に、この一年、私が頑張れたのは周りの先生方の支えがあったからです。右も左もわからない私に一から丁寧に指導して下さい、困ったときは親身になって相談に乗って下さい、本来私がしなければならぬことをして下さい…たくさんの先生方の支えとともに過ごした一年でした。皆さんもきっと悩むことが多いと思いますが、困ったときは一人で悩まず、周りの先生方の力もお借りして一緒に頑張りましょう。充実した一年となるよう願っています。

中学校

この度は、採用おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響で、厳しい状況下での採用試験だっただろうと察します。

引き続き新型コロナウイルスの影響により、初任の一年は厳しいものになるだろうと思います。人と集まったり愚痴を聞いてもらったりしづらい状況が続くと思いますが、困ったときにはどんどん周囲の人に頼ってください。きっと、様々な方が気にかけてくださり、助けてくださることと思います。子ども、保護者、そして同僚の先生など、先生という仕事は絶えず人と関わるものですよね。悩み苦しむこともあるかと思いますが、自分と価値観の異なる人との関わりを、ぜひ楽しんでくださいね。

同じ豊能地区の先生として働けることをうれしく思います。またどこかでお会いしましょう。改めて、採用おめでとうございます。

中学校

教員採用試験合格おめでとうございます。

一年目は急激に環境も変化し、不安に感じることも、失敗をしてしまうことも多くあると思います。私自身も授業や生徒指導がうまくいかず、落ちこみながら家まで帰ることが何回もありました。本当に教員をやっているのかとさえ思うこともありましたが、それでも一年目を乗り越えることができたのは、楽しむことができたからだと感じます。一年目から全てを完璧にこなすことはできないと割り切り、自分が楽しんで生徒と向き合うことを第一に考えました。生徒は無限の可能性をもっており、楽しんで接するとしっかり返してくれます。一年目はあっという間に過ぎていきます。楽しむことを大切にしてください。現場で皆さんと共に働くことを楽しみにしています。

中学校

私は大学を卒業してすぐ豊能地区に赴任しました。この1年間、分からないことや力不足でうまくいかないことが多く、正直とてもしんどいことが多かったです。くよくよ考える時間も多かったのですが、そんな時「どうやったらこの状況を楽しくできるか」を考えるよう心がけました。初任者指導の先生から教えていただいた、何か難しい局面に陥った時、漫画や映画の主人公のように「・・・面白くなってきた、ニヤツ」と心の中で唱えるようにしています。これは意外に効果的で、自分の置かれた状況を客観的に捉えることができました。いろいろなことがあると思いますが、一緒にお仕事できる日を楽しみにしています！

中学校

合格おめでとうございます。

昨年度はコロナ禍で例年にはないスタートということもあり、戸惑いと不安の連続でした。4月から勤務を始めたものの、なかなか生徒にも会えず、教材の準備、担任をするクラスの準備などする中で、自分に務まるだろうかという気持ちでいっぱいでした。その分、6月から学校がスタートし、生徒たちと会

えた時は、とても嬉しかったです。授業も学級経営も、うまくいったことよりもできなかったことの方がずっと多く、落ち込んだり悩んだりすることもありましたが、生徒たちの頑張る姿、少しずつ成長していく姿に元気をもらいました。今年度は学校内外での行事をあまりできず、生徒たちが普段授業で見せる顔と違った顔を見られる機会が少なかったです。その分、普段から積極的に生徒たちに話しかけ、関わっていくことの大切さを改めて感じた一年でもありました。

一年目は、辛いこと苦しいこと、悔しいことがたくさんあると思いますが、そんな時は周りの先生方に頼ってみてください。必ず力になってもらえるはずです。一人で抱え込まず、周りの人に聞いてみることで自分自身の力になるはずです。一緒に頑張っていきましょう！

中学校

先生としても社会人としても一年目で、教壇に立って生徒に教えなければいけない、ということに気持ちが追いつかず、しんどいと感じることも多くありました。その中でも生徒と関わることで気持ちが楽になることや楽しかったこともたくさんありました。この一年、周りの先生方と比べて自分の経験の浅さ、授業の拙さに落ち込むことばかりでしたが、必死さは生徒にも伝わっていたと思います。失敗することも間違えることもたくさんありましたが、そのたびに生徒に助けられて一年間乗り越えることができたのだなと感じます。

しんどい時もどうしていいかわからない時もたくさんあると思います。家族、友だち、先輩や同僚など、しんどい時には助けを求められる、自分が安心できる場所を大事にしてください。

中学校

「教師をしている」と言うと、「大変ですね」とか、「すごいですね」という反応が返ってくる人が多いです。たしかに、大変なこともたくさんありますが、決してそれだけではなく、そんな一言ではまとめきれない、もっとたくさんの魅力がこの職業にはあると思います。

私自身、この1年間だけでも思い浮かぶ場面がいくつもあります。それは、子どもとの関わりの中だけでなく、周りの先生方や保護者との関わりの中など、様々ですが、どれにも共通しているのは、人と人とのつながりがあってこそということです。

昨年度は異例の事態で、目に見えないものに振り回され、先が見えない日々も続きましたが、だからこそ見えてくる大切なものもあったと感じています。そして何より、目の前の子どもたちは一生懸命、今を生きているし、しっかりと明るい未来に向かっていきます。

新しい環境に飛び込むことは不安も大きいと思いますが、初任者の特権として、困ったときにはどんどん周りを頼ってください。子どもたちの可能性を信じ、楽しみながら一緒に頑張っていきましょう。

中学校

私は一昨年度まで他市で講師をしており、昨年度初めて箕面市で勤めることになりました。私のように、新しい環境で働くことになる方が多いのではないかと思います。

私は4月当初、もちろん期待はしていましたが、それよりも不安の方が大きかったです。おそらく、皆さんもそうではないでしょうか。しかし、実際に働き始めると同僚の先生方は優しく、すぐに不安はなくなりました。例年とは違い休校からのスタートでしたが、同僚の先生方と協力しながら課題を作成し、生徒の登校に向けて準備を行いました。登校が始まってからも、もちろん悩むことは多々ありました。その中でも、生徒との関わり方については、以前に勤めた学校とは雰囲気も違っていたので、悩むことがありました。しかし、生徒と関係をつくることを決して諦めず、何度も会話を重ねることで生徒も心を開いてくれるようになりました。最初は目も合わさずに全く会話が続かなかった生徒も、今では生徒の方から声をかけてくれることもあり、毎日楽しく過ごしています。もちろん、私が一人で頑張ったからではなく、たくさんの先生方に助けていただいたおかげで、無事に一年を終えることができました。

みなさんも困ったり悩んだりした時には一人で頑張らず、ぜひいろいろな人に助けてもらってください。

中学校

生徒たちが休み時間に集まってきたり、日常の何気ないことを報告してくれたりした瞬間、自分が生徒から認められていることを実感でき、この仕事を選んでよかったという気持ちになれます。保護者との関係づくりや授業準備、テスト作成など、様々なことにとっても多くの時間が必要で、しんどい毎日が続きますが、そんな状況で救いになるのは関わっている生徒たちです。ぜひ、子どもたちと共に学び成長していく気持ちを忘れずに、可能な限り触れ合う時間をつくって素晴らしい関係を築いていってください。

そして、周囲の先生方の助けなしには、授業や担任業務、校務分掌、部活動など、どれをとっても十分にはできません。相談できる先生や日々起きたことを何でも話すことができる先生を見つけ、一人で悩まないようにしてください。それが自分を守り、成長していくための最善の方法です。

職場での人と人との関係づくりを大切に、今年一年を乗り切ってほしいと思います。

中学校

講師経験があったり、そうではなかったりと様々だと思いますが、今皆さんの隣にいる人たちは仲間です。私はこれまで自分一人でなんとかしようとして取り組んできたことが多々ありましたが、採用され同じ初任者仲間がいることに気づいたことによってたくさん救われることもありました。学年が同じでも、そうではなくても、悩みを言い合ったり励まし合ったり、関わることができました。初任者ならではの悩みや戸惑いがあった時には、同僚の言葉や行動が励みとなりました。新たな土地に来て不安なこともあると思いますが、学校・地域・地区には同じ仲間がたくさんいるので、一人で頑張らずに様々なことにチャレンジしてほしいと思います。頑張ってください。

中学校

採用試験合格、おめでとうございます。採用試験の合格はスタートラインにようやく立てたということ。自分自身がどのような教員を目指すのか、そのために日々何をすべきかを考え、行動してみてください。また、生徒や同僚教職員との関わりの中から多くのことを感じ取り、学んでいってください。経験と生徒との関わりの中からしか得られないものもありますが、たくさんの生徒や教職員、保護者から学ぶ姿勢を大切にすることが自分自身を成長させることにつながると思います。謙虚さと傾聴する気持ちが大切だと感じます。

これから先、うまくいかないことの方が多いかもかもしれません。でも、初めはうまくいかないものです。それでも、採用試験に挑んだ気持ちと同じように、あきらめないことが大切です。十分に準備をして、自分の力ではうまくいかないのなら、同僚教職員に相談し、協力を仰ぐこと。生徒のことが一番大事だからこそ、自分自身の心と体の健康をまずは大切にしてください。しんどい時は無理せず休む勇気も時に必要です。頑張りすぎないこと、一段一段目標とする教師への階段を上がっていきましょう。

中学校

期待や不安など様々な感情をもつ一年になると思います。いざ生徒の前に立つと今までとは違い、うまくいかず、楽しみだった教員生活がこの先本当にやっていけるのか、という不安が変わるときがあるかもしれません。そんな時は必ず教科や学年を越えて周りの先生方を頼ってください。必ず助けてくださいます。また、生徒との関わり方など新しいアプローチの仕方を知ることができ、そこから「次はこうしてみようかな」、「今日はこうした方がよかったかな」など、さらに教員としての自分を高めていくことができ、少しずつ生徒と関わるができます。辛いことの方が多いかもしれませんが、少しの嬉しいことが大きな嬉しさへと変わります。決して一人で抱え込まず、周りの先輩方、同期を頼って頑張ってください。

中学校

年度が始まると、毎日が目まぐるしいほどの速さで過ぎていきます。こなさなければならない仕事も山ほどあり、また新たな環境の中で心身ともに疲れ果てる日もたくさんありました。子どもたちのことで悩むこともあります。教室に行くと毎日元気な子どもたちの顔が見ることができ、元気をくれるのも子どもたちです。また職員室では、優しくいろいろと教えてくれる先輩方もたくさんいるので、初任者という特権を使って、たくさん聞いて回ったらいいと思います。

なによりも学び続けようという姿勢があれば、周りの先生方もたくさん助けてくださるし、子どもたちも協力してくれると思います。昨年度、私は子どもたちにたくさん助けられました。心が折れそうな時も子どもたちの何気ない一言で救われたときもありました。子どもたちから日々学ぶこともたくさんあります。私にとって初任者としての一年は、これからも子どもたちと一緒に成長していきたいと思える一年でした。

初年度はたくさんの素敵な出会いがたくさんあります。一日一日を楽しんで、頑張ってください。

養護教諭

新規採用者のみなさん、合格おめでとうございます。今年度の研修は予定通りできているのでしょうか？

昨年の自分を思い返すと、期待よりも不安が大きかったように思います。新型コロナウイルスによって常に先が読めない状況で「私でやっていけるのか・・・？」とっていました。きっと今年度の新規採用者の方々も同じ気持ちなのではないかなと思います。無責任な言葉に思うかもしれませんが、大丈夫です。どうにかかります。

私は一般企業で勤めていた経験もあるので、その時と比べると学校はとても「あたたかい現場」だと思います。学校という場所は子どもを育てる場所ですが、それは「人」を育てる場所とも言えます。みなさんが一生懸命にやっていたら、それを助けてくれる、応援してくれる人がたくさんいますよ。どうかたくさんのかわいい子どもたちや、個性豊かな先生方との出会いを楽しみにしてください。

栄養教諭

皆さんに伝えたいことは「分からないことは何でも聞くべし！」です。私自身、学校に一人しかいない職であり、今まで栄養教諭の配置がなかったところで働き始め、何もかもが初めてで分からないことだらけでした。また、最初の方は話せる先生も少なく困ることが多かったです。しかし、周りで私のことを気にかけてくれる方がいたり、自分から授業中の子どもたちの様子を見に行ったりすることで、話せる方が増えていきました。皆さんとても忙しそうなので、「こんなこと聞いてもいいのかな」、「仕事の邪魔をして悪いな」と思うこともたくさんありましたが、一つの質問をすると十のことが返ってくる、といった具合にたくさんのお話を教えていただきました。一年目は何も分からなくて当たり前、と自分に言い聞かせると、何でも聞きやすくなりました。また、質問するだけでなく、雑談も大切にするといいと思います。特に私は担任で一つのクラスの子どもたちを見るのではなく、学校全体に関わる立場なので、何か新しいことをするとなると、必ず他の先生との協力が必要です。そのような時に普段からコミュニケーションを取っていると話しやすいです。悩むことがたくさんあると思いますが、「失敗するなら早いうちに！」です。頑張ってください。

学校事務職員

新型コロナウイルス感染症の脅威は、まだ完全に収まったとはいええない状況が続いています。そうした中で、沢山のことを吸収していきながら、子どもたちや保護者、地域の方々に関わることで、また学校を運営していくこと、非常に大変だと思います。教職員にとって不断の努力はとても大切ですが、行き詰った時には、決して自分一人で抱え込むことなく、是非周りを見渡してみてください。時には先輩を頼り、同期と悩みを共有するなどして、周囲と協力していくことが、昨今の状況を乗り越えていくにあたって不可欠であり、とても大切なことだと私は考えます。

学校は大きな一つにチームです。共に頑張っていきましょう！